

## モニタリング結果報告書

施設 神奈川県立県民ホール(神奈川芸術劇場)

指定管理者 公益財団法人神奈川芸術文化財団

施設所管課 県民局くらし文化部文化課

(平成 22 年度 下半期)

## 管理運営状況総括

## 1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日		改善すべき業務等なし
11月	12月10日		改善すべき業務等なし
12月	1月11日		改善すべき業務等なし
1月	2月10日		改善すべき業務等なし
2月	3月10日		改善すべき業務等なし
3月	4月8日		改善すべき業務等なし

## 2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

## &lt;提案内容の概要&gt;

モノを「つくる」、人を「つくる」、まちを「つくる」という三つの「つくる」を満たす創造型劇場として、演劇、ミュージカル、ダンス等の作品を企画、制作し、展開していく。

- ① 舞台技術、事業制作、劇場案内、清掃、警備、施設維持といった様々な業務の緊密な連携による、来館者や利用者への安全、安心、快適な劇場空間の提供
- ② 良質の舞台芸術作品の創造・発信、教育普及活動の充実による文化芸術への理解・関心の促進・人材育成への積極的取り組みによる文化芸術振興基盤の強化
- ③ 地域の文化芸術施設等との連携

## &lt;実施状況&gt;

1月に開館を迎え、開館記念式典や自主事業、広報営業活動の展開など、以下のような取り組みを実施した。

- ① 1月の開館に向け、施設の施工状況の確認や調整等を行ったほか、設備操作や案内等の習熟訓練等を行い、来館者や利用者へ安全、安心、快適、かつ、施設の有する機能をより充実した形で提供できるよう準備を進めた。また、11月19日～24日にかけての施設内覧会や、施設見学を随時実施し、施設利用の促進を図った。

## ② 主な公演・事業

## &lt;ホールでの公演&gt;

- 「神奈川芸術劇場開館記念式典」(能楽『翁』) 2011年1月11日(火)、入場者 797人
- 「金閣寺」2011年1月29日(土)～2月14日(月)、計17回、入場者 17,452人
- 「春風亭小朝独演会」2011年3月12日(土)～13日(日)、計1回(全3回の公演を予定していたが、東日本大震災の影響により2回中止)、入場者 670人
- 「杉本文楽 曾根崎心中 付り観音廻り」2011年3月23日(水)～27日(日)、東日本大震災の影響により公演中止

## &lt;大スタジオでの公演&gt;

- 葛河思潮社 第一回公演「浮標」2011年1月17日(月)～23日(日)、計8回、入場者 1,590人

(記載例入り) モニタリング結果報告書様式

- チェルフィッチュ「ゾウガメのソニックライフ」2011年2月2日(水)～15日(火)、計15回、入場者2,812人
- 地点「Kappa/或小説」2011年3月11日(金)～21日(月・祝)、計1回(全12回の公演を予定していたが、東日本大震災の影響により11回中止)、入場者70人
- たいらじょう「はなれ瞽女おりん」2011年3月25日(金)～27日(日)、東日本大震災の影響により公演中止

<教育普及事業>

- 「地点・三浦基ワークショップ 俳優の「発語」をめぐって ～芥川龍之介のこぼれを解体する」2011年2月6日(日)、アトリエ、参加者20人
- 「KAAT オープントーク Vol.1『劇場って何? 芸術監督って何?』」2011年2月26日(土)、ホール、入場者317人
- 「KAAT 舞台芸術講座「KAAT 建築探検」」2011年3月6日(日)、中スタジオ、参加者41人
- 「KAAT 舞台芸術講座「杉本文楽 曾根崎心中」 関連講座『浄瑠璃本をよむ ―「曾根崎心中 付り観音廻り」(黒部本)より―』」2011年3月13日(日)、中スタジオ、参加者69人
- 「前川知大の劇作ワークショップ」2011年3月20日(日)、中スタジオ、東日本大震災の影響により中止
- 「バックステージツアー」2011年3月30日(水)、東日本大震災の影響により中止

<人材育成事業>

- 「KAAT 舞台技術ワークショップ「創造を支える劇場技術」」2011年2月23日(水)～25日(金)、ホール、参加者61人
- 「劇場インターンシップ」2011年3月1日(火)～31日(木)、東日本大震災の影響により15日以降中止、参加者12人

- ③ 各国の劇場・ホールの制作担当者、フェスティバルのディレクター、プロデューサー、エージェント、プロモーター、カンパニーの制作者などが集まる国際的な舞台芸術イベント「国際舞台芸術ミーティング in 横浜(TPAM in Yokohama)」を、ヨコハマ創造都市センター、横浜赤レンガ倉庫1号館、象の鼻テラス、のげシャール(横浜にぎわい座)、STスポット横浜、BankART Studio NYK 等の地域の文化芸術施設及び神奈川県民ホール本館と連携して開催した。

2011年2月16日(水)～2月27日(日)、入場者数3,135人(神奈川芸術劇場を会場とするものの入場者数)

**3 収支状況** (単位: 千円) 注: 千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	785,970	550,899	22,500	212,571	785,970	0
上半期計 (a)	190,451	189,149	432 ( 0 )	870	168,285	22,166
下半期計 (b)	590,564	361,750	10,490 ( 0 )	218,324	612,729	△22,165
10月	55,675	55,040	635 ( 0 )	0	40,764	14,911
11月	52,521	51,877	644 ( 0 )	0	25,760	26,761
12月	113,728	106,470	1,919 ( 0 )	5,339	50,426	63,302
1月	57,081	50,256	2,529 ( 0 )	4,296	68,588	△11,507
2月	48,335	45,529	2,439 ( 0 )	367	57,097	△8,762
3月	263,224	52,578	2,324 ( 0 )	208,322	370,094	△106,870
合計 (a+b)	781,015	550,899	10,922	219,194	781,014	1

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。  
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

**収支状況に関する意見等**

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

**(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)**

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況	神奈川芸術劇場開館5周年記念公演積立金	(期首) 0千円
		(期末) 30,145千円
	経営基盤安定積立資産	(期首) 0千円
		(期末) 16,595千円

- 収入の状況: 定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。  
 支出の状況: 車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。  
 積立等の状況: 積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	2,851 人	—	—%
10 月	1,371 人	—	—%
11 月	4,103 人	—	—%
12 月	3,319 人	—	—%
1 月	8,984 人	—	—%
2 月	22,248 人	—	—%
3 月	2,565 人	—	—%
下半期計 (b)	42,590 人	—人	—%
合計(a+b)	45,441 人	—人	—%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1 割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

1 月の開館までは、備品搬入等の作業や施設視察、貸館検討のための下見等での利用が中心である。また、3 月は地震の影響による公演中止により利用者数が少なめとなっている。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10 月	0	0	0	0	—	0
11 月	0	0	0	0	—	0
12 月	0	0	0	0	—	0
1 月	0	0	0	0	232	232
2 月	0	0	0	0	823	823
3 月	0	0	0	0	119	119

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10 月			
11 月			
12 月			
1 月			
2 月			
3 月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・床が板張りで足音がうるさい(16 件)	カーペットの設置により足音等の軽減に努めている。
	・トイレが良くない。(少ない、混んでいる、わかりづらい) (16 件)	利用が集中する休憩時には、案内係を配置し利用者への誘導を迅速に行うなど、待ち時間の短縮に努めている。また、各公演の観客層によっては男性用トイレを女性用として開放するといった工夫も行っている。
	・座席が良くない (見えにくい等) (70 件)	自主事業では座席に応じた価格設定の工夫やオペラグラスの有料貸出などの対応を行っている。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

特になし。

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

9 上(下)半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者

平成23年1月のオープン当初から、安定した劇場運営を行っていくため、  
 ① 季節の変化等に合わせ、施設の空調や照明等の設定をきめ細かく行うとともに、節電や経費削減といった観点から見直しを行うことで、より環境にやさしく快適な施設環境を実現する  
 ② 東日本大震災の発生による施設運営の対応を踏まえ、災害時における利用者の安全確保や事業継続の判断等について、改めて手順や指針を確認する  
 ③ オープン後、施設の周知について、より幅広くきめ細かい広報活動等を行うことが必要と考えることから、さらなる認知度向上等に努め、施設利用の促進に努めるなどの対策を講じていく。

これらの取り組みにより、利用者により良い状態で施設を提供し、利用料収入の向上につなげるとともに、劇場の設置目的を十分に実現できる形での運営を行っていく。

施設所管課

○ 東日本大震災の影響により、施設としても一定の節電目標を達成することが求められることから、節電や経費削減といった観点からの効率的かつ環境負荷の少ない快適な施設環境の実現に向け、引き続き努められたい。  
 ○ 東日本大震災の発生に伴う利用者の安全確保については、適切な対応と迅速な情報提供がなされた。緊急時の対応について、引き続き対応能力の向上を図られるよう努められたい。  
 ○ 様々な広報媒体を通じ、積極的な広報を展開しているが、オープンしたばかりの新しい施設であり、さらなる認知度の向上が求められることから、引き続き広報の充実を図り、施設利用の促進に繋げられるよう努められたい。